

ナンバリング		授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】/(分野)	授業形式									
E142E009		古典文学研究 (Japanese Classical Literature)															
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	担当教員											
選択	2	4	教育学部 平成31年度以前入学生 用			氏名 安道 百合子  E-mail y-andou@oita-u.ac.jp 内線 7535											
授業の概要	『源氏物語』を、テキストに沿って精読し、課題を見つけて議論、考察する。テキストは、特定の人物に寄り添って本文を再編集したものを扱い、本文の異同・解釈上の問題点・人物論・構想論・享受史など、多様な観点での研究方法を習得する。意見交換を経て、自分なりに研究課題を見つけ、その解決を目指す。																
具体的な到達目標						DP等の対応(別表参照)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
目標1	『源氏物語』読解のための基本的な手続きを習得する。																
目標2	『源氏物語』を読解、鑑賞して、説明できる。																
目標3	古典文学作品の教材研究ができる。																
目標4																	
目標5																	
目標6																	
目標7																	
目標8																	
目標9																	
目標10																	
授業の内容																	
1	『源氏物語』の作者・成立・本文系統																
2	『源氏物語』研究必携																
3	藤壺(1)																
4	藤壺(2)																
5	課題探求-主題、不義密通																
6	未摘花(1)																
7	未摘花(2)																
8	課題探求-享受、絵巻・絵入版本																
9	葵の上と六条御息所(1)																
10	葵の上と六条御息所(2)																
11	課題探求-史的背景、物の怪																
12	紫の上(1)																
13	紫の上(2)																
14	紫の上(3)																
15	課題探求-人物、ゆかり																
ラ イ ク ニ テ ン イ グ	A:知識の定着・確認	授業時には、テーマを決めて議論したり、小レポートを課す。					工 夫 そ の 他 の										
	B:意見の表現・交換																
	C:応用志向																
	D:知識の活用・創造																
時間外学修の内容と時間の目安	準備学修	テキスト読解の予習をする。古語辞典、源氏物語事典、など基礎文献を用いて、自分なりに読解し、課題を見出す(20h)。															
	事後学修	授業での講義や意見交換などを踏まえて、再度、課題について考察する(25h)。															
教科書	『源氏物語を彩るひとびと』(米田明美・中葉芳子著、青簡舎、2015)																
参考書	『源氏物語事典』(大和書房、2002)ほか、適宜紹介する。																
成績評価の方法及び評価割合	評価方法	割合	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10					
	授業時の発言、小レポート	40%															
	期末レポート	60%															
注意事項	深く追究したい自分なりの研究テーマを見つけてほしい。																
備考	古語辞典必携。																
リンク	URL																